

平成30年度農高・農大就農促進対策事業（農高就農促進対策助成）

事業主体名 鹿児島県立種子島高等学校

1 目的

本地域は農業が基幹産業であるが、本年度入学生のお多くは第二種兼業農家・非農家（85%）であり、農業体験が少ないことが予想される。しかし、半数以上（64%）の生徒は農業に興味・関心を持ったことを入学の動機にあげている。

このような現状から、地域農業および先進的な農家の実態を把握させるための視察研修や職場体験学習等は就農意欲の醸成とともに教育的効果が高いものとする。



JA 実習（農産加工センター）

2 実施状況

(1) JA 実習（職場体験学習）

生物生産科1年生32人が、5日間の日程で種子屋久農業協同組合の各事業所および関連機関で職場体験学習を行った。農業関連企業での体験学習をとおして、地域農業に対する理解が深まり、より興味・関心を抱くことができた。

(2) 島内視察研修

生物生産科2年生37人が、島内の先進的な農家および施設を見学した。先進的な農家や各施設の取組を学び、地域農業の現状や先進的な取組について理解を深めることができた。



島内視察研修（南種子町育苗センター）

(3) 島外視察研修

将来、就農や農業大学校への進学を志す生徒が2日間の日程で県立農業大学校や島外の先進農家を視察した。島外の農業を知る良い機会となり、進路実現に向けての意欲を喚起づける契機となった。



島外視察研修（農業大学校）

3 今後の課題、取り組み

本年度の農業に関する進路実績は、農業大学校進学者5人であった。本事業を継続活用することで農業を志す生徒達にとって有意義な視察や研修を実施できた。

今後も事業内容の充実を図り、地域農業を支える人材育成に尽力していきたい。